



令和8年度 第24号

2学期始業式 「式辞」

8月19日(水)の2学期始業式で、校長から全校児童生徒へ伝えた話です。

※ 原稿をそのまま読んでいるのではないため、内容は一部変わったところもありました。

お久しぶりです、全校の皆さん。

まずは、みんなで元気に挨拶を交わしましょう。「おはようございます!」

32日間あった長い夏休みでしたが、皆さんは元気に過ごしていましたか?

1学期の終業式で、私は皆さんに2つの宿題を出しました。覚えていますか?

①「学校ではできない体験をすること」

②「2学期への準備をしっかりとおくこと」

この2つは、しっかりとできましたか?

実は、皆さんに「体験をしなさい」と伝

えた私自身も、この夏休みにとても貴重な経験をしてきました。それは、イギリスにある「パース」と「スカボロ」という街を訪れたことです。この2つの街は、ロンドンやパリのように有名ではありません。しかし、今から25年前、私が初めて日本人学校に派遣されたオーストラリアの街の、名前の由来(元)になった場所なのです。

はるか昔、地球の反対側にあるオーストラリア大陸へ移住してきたイギリス人たちは、遠く離れた故郷を恋しく思い、自分たちが生まれたイギリスの地名を、新しい土地につけました。

今回、私がイギリスのパースやスカボロの地を実際に踏み、その景色を見たことで、「当時の人たちは、どんな思いで海を渡ったのだろう」と、ほんの少しですが、何百年も前の人の心に触れられた気がしました。本物を見て、現地に行くという「体験」をしたからこそ、私の心や視野がまた一回り広がったのだと感じています。

さて、今日から2学期が始まります。この2学期は12月18日(金)まで、86日間という長い道のりです。運動会や合唱祭、各学年の校外学習や現地校交流など、大きな行事がたくさん待っています。さらに、小学部の児童会や中学部の生徒会が、次の世代へとバトンタッチをする大切な時期でもあります。私はよく皆さんに、「富士山のように、広い裾野をもつ人になろう」と伝えていますね。この2学期をどう過ごすかで、終わる頃には、皆さん一人ひとりの「心の広さ」や「成長の姿」に、大きな差がついているはずです。

毎日の授業を大切に「学力」を高めること。そして、たくさんの行事に全力で取り組み、仲間と協力す

ることで、人としての優しさや強さ、つまり「人としての幅」を大いに広げてください。2学期、皆さんが大きく、たくましく化ける(成長する)姿を楽しみにしています。これで、私からの話を終わります。



【校歌斉唱】写真左

始業式の最後に全校で校歌を歌いました。伴奏と指揮を務めたのは小学部4年生の2人です。始業式という大舞台で、見事にみんなをリードしてくれました。

「2学期（に向けて）の決意」

始業式の冒頭、2名の児童と1名の生徒から「2学期の決意」という題での意見表明をしてもらいました。※以下、要約

- 1、4年 A 組男児：1学期には、係活動と側転の練習を頑張った。2学期には、漢字をきれいに書くこと、係活動を（引き続き）頑張ること、（遊びと勉強の）切替えを早くするよう頑張りたい。
- 2、4年 B 組女児：1学期には、漢字（練習）を頑張った。2学期には、代表委員・実行委員へ積極的に挑戦したい。また国語の物語文では、登場人物の気持ちを（深く）読み取りたい。
- 3、中学部1年男子生徒：これまでも勉強に取り組む時間は確保できていたが、今後はその「質」を上げていきたい。また何事にも（臆することなく）飛び込み挑戦していける「ファーストペンギン」（のような）存在になりたい。



新しい仲間、そしてお別れする仲間



校歌斉唱の後、新しく仲間に加わった編入生と、これから本校を離れる退学生からの挨拶がありました。各自、学年と名前に加え、編入生は出身都道府県を、退学生はこれからの進路や戻る都道府県名をしっかりと伝えてくれました。

慣れ親しんだ仲間との別れは寂しいものですが、新しい場所でも、この学校で身に付けた知識と経験

をいっぱい生かして、自分らしく大活躍してくださいね。応援しています。

英検・フランス語検定 合格者を祝福

今回の表彰披露では、英検とフランス語検定の合格者を紹介しました。本校を会場に英検を実施していることもあり、今年度も大勢の合格者が誕生しました。昨年度、PTA を通じて自校開催における運営面での課題や体制について共有させていただきました

ましたが、皆様のご理解のおかげで無事に開催が継続できております。今後も子どもたちが身近な環境で挑戦し、多くの合格者が出るよう、引き続き検定運営への温かいご理解とご協力をよろしくお願いします。



編入学説明会



2学期の始業式に先立ち、8月18日（火）10:00から「編入生説明会」を行いました。会場には、2学期から編入予定のお子さんご家族、合わせて30名ほどがお越しくださいました。参加したお子さんたちの表情からは少し緊張している様子も伝わってきましたが、新しい仲間とすぐに仲良くなれるのが「我が JSP」の素晴らしいところです。在校生の皆さんも、自分が優しく受け入れてもらえた経験を思い出し、ぜひ「優しさのバトン」をつないでいてください。